



#### ④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

可児市に本部を置く株式会社サーバントが既存の事業を場所、利用者、職員と全部そのままの形で前法人から引き継ぎ、北方町2か所、本巣市1か所の放課後等デイサービスの事業所運営に着手し、その一つがキッズランド虹である。サーバントの多機能性ある運営で再出発した事業所である。

支援室は広く、思いっきり体を使ってボールを蹴ったりボルダリングで運動機能を養うなど、遊びの中でコミュニケーション力と自己肯定感を持てる支援に力を入れている。

北方町と本巣市の3事業所の拠点でもあり、2階に本部との事務機能の部門や会議室も備えている。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年5月7日（契約日）～ 令和元年11月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	今回が初めての受審

#### ⑥総評

##### ◇特に評価の高い点

（利用児の力を引き出す支援）

職員4名中3名が保育士の資格を持ち、その専門性が支援に活かされている。地域の商店へ買い物に行き、金銭管理を学ぶ機会としたり、切符の購入方法を覚え、電車に乗る外出を体験している。また、利用児自らが時間を確認して行動できるように、大きな壁時計が掲げられ、時間管理の支援をしている。テープやハサミの文具の使い方を段階を踏んで教えるなど、多彩なカリキュラムを用意し利用児個々の持つ力を上手く引き出す支援をしている。

（職場のチームワーク）

職員、利用者はそのまま法人が変更されたが、エリア統括役員のサポートを得ながら現法人の経営方針に管理者は職員が不安にならないよう努め、職員間で日々話し合いが行われ、風通しの良い関係ができています。基準ぎりぎりの職員数であるが、エリア事業所と連携し職員のワークライフバランスに配慮し、職場のチームワークで適切な療育が実践されている。

##### ◇改善を求められる点

（安全に配慮し環境の確保）

天井が高く、広い空間が確保され、運動スペースとして利用児が活動的に動き回ることができる環境にあるが、その広い運動スペースの床に敷き詰められているマットが波打っており、つまずき転倒のリスクがある。床の整備が望まれる。また、利用児が蹴るボールは天井にも届く勢いがあり、電球が割れたり落下する危険があり、ボール遊びの方法を検討するか、落下防止策を講じるかして安全に配慮した環境整備に期待したい。

(中長期計画や事業計画の文書化)

中長期計画や経営、人事等は法人代表のトップダウンでスピード感を持ってい運営が進められ、文書化の作業は後回しになっている。必要な情報や伝達はテレビ会議を通して迅速に対応している点は評価できるが、組織が大きくなればなるほど、事業計画や経営方針等を文書化したもので組織として各事業所の管理者へ周知を図り、定期的に職員の意見や要望を聞き、運営に反映させていく取組に期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

客観的な立場からの評価は、今まで当たり前であったことに対して、今一度考え、問題点を把握し今後に結びつけるとてもいいチャンスをいただきました。  
評価結果を踏まえて職員一同、利用者様、保護者様の思いに応えていけるよう、継続して取り組んでまいります。また、環境整備も安全に配慮できるよう考えてまいります。  
ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

# 評価細目の第三者評価結果

キッズランド虹

## 評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念はホームページに記載され、事業所にも大きく掲示されており、職員、利用児、家族等が目にすることができる環境にある。前法人から職員と利用児はそのまま経営を引き継ぎ、移行時に保護者会説明会でわかりやすくパワーポイントを用いて理念を説明している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>移行時、保護者説明会に不参加の保護者に対し周知不足である。法人が変更した今だからこそ理念、基本方針の説明が望まれる。また、保護者等へは重要事項説明書や保護者との連絡帳の裏表紙等を活用する工夫で、周知につながりやすい。</p>		

### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人代表がインターネットや関係機関等から福祉の動向、行政資料、予測される経営環境等の情報収集し、各事業所に資料やメールで発信している。各事業所にはテレビ会議で代表から経営状況の分析結果が報告され、スピード感を持って経営に取り組む姿勢を貫いている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>前法人から今年2月に移行してまだ日が浅く、管理者および職員が現法人の組織体制を理解し、この事業所の地域性を組織の上層部に発信することから始められたい。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人代表は経営課題を明確にし、具体的な数値目標を示している。管理者はその数値目標を意識し、より良いサービスを提供するために何をしていくべきかを職員ミーティングで話し合い経営課題に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>前法人の経営から移行したが、職員の意識と現法人の経営方針に少なからず温度差がある。経営課題の取組については、法人代表のトップダウンからボトムアップの組織体制に期待したい。</p>		

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
<p>良い点/工夫されている点：            法人代表は福祉・医療・教育を三本柱とするビジョンを持っており、事あるごとに職員へ周知している。その取組は法人代表が中心になって、時代の情勢を読み取り計画は迅速に進めることをモットーにしている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：            ビジョンは明確になっているが、法人代表によるビジョンの実践が先行し、組織としての事業計画と収支計画の策定が十分とはいえない。近年人材確保に苦慮する現状も踏まえた計画の策定に期待したい。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
<p>良い点/工夫されている点：            スピード感を持って事業運営が行われており、管理者も徐々にその運営を理解し、数値目標に向かって進めている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：            組織が大きくなれば文書化による計画策定は必然の作業であり、その取組に期待したい。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<p>良い点/工夫されている点：            代表のトップダウンのところがあるが、同エリアにある3事業所の統括管理者は法人役員も担っており、代表と意見を交わしパイプ役となって事業展開が進められている。職員が同じ方向を向いてより良い仕事をするためにも、職員間で情報を共有している。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：            地域性を踏まえた事業計画になるためには、その地域性を理解する管理者および職員の意見を汲み取り、事業計画に反映させた策定に期待したい。組織として文書化されたもので職員周知が図られたい。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	b
<p>良い点/工夫されている点：            行事計画に近いものになっているが、内容は法人発行の通信に記載し、保護者等に配布している。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：            行事計画と併せて事業計画を発信することで、保護者等に事業に対する理解を深められたい。</p>		

## I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>法人は同種別の事業を複数運営しており、運動を中心に活動する事業所、創作活動を主としている事業所等、それぞれ特色を持った取組を行い、組織の多機能性がサービスに活かされている。定められた評価基準に基づいて、職員自己評価と保護者評価を実施し、その結果はホームページで公開している。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p> <p>前法人の運営方針から現法人の運営方針に切り替えている途中の段階にあり、PDCAサイクルでのサービスの質に向けた取組も現在進行形である。今後の取組に期待したい。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>評価結果に基づく課題が文書化され、職員間で共有されている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p> <p>評価結果は本部で集約されており、課題の文書化も本部が担っている。改善計画の策定、その見直し等の作業は、その事業所の管理者と職員が意見を出し合い、事業所が主体となり実施されたい。</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>前法人時の職員がそのまま現法人に移行しており、管理者が中心となり、職員間のコミュニケーションが図られている。組織図があり、職員異動時には組織図も都度、変更されている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p> <p>法人が移行したこともあり、ホームページや保護者向け配布資料等で管理者としての役割と責任を表明することで、さらに、保護者との信頼関係を図られたい。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>法人顧問には各種専門職を配置しており、司法書士による法令遵守の研修があり。特に拘束や</p>		

虐待に関する法令遵守は繰り返し研修し、職員に周知徹底を図っている。事業所で必要な法令は法人本部からその情報を得ている。		
改善できる点／改善方法：		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
良い点／工夫されている点： 職員、利用者はそのままの状態が法人が変更されたため、エリア統括役員のサポートを得ながら現法人の経営方針に職員が不安にならないよう努めている。常に職員の意見に耳を傾け、利用者にとって何が一番適切かを話し合っている。		
改善できる点／改善方法：		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
良い点／工夫されている点： 人事、労務、財務等に関しては、法人代表が主導の体制にあるが、管理者として現場の状況や要望等を挙げるなど事業所運営のパイプ役を果たしている。		
改善できる点／改善方法：		

## II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
良い点／工夫されている点： 職員数、専門職等の有資格者の配置は基準を満たしているが、職員の有休や急病と時は、エリア事業所間の連携で応援体制にある。法人全体として人材確保をしている中で必要な人材について意見を挙げている。		
改善できる点／改善方法： 法人として、その時に必要な人材確保、育成には努めているが、具体的な計画には至っていない。法人が変更し、職員の不安や戸惑いがあったが、少し落ち着いた今から、職員の人材育成の具体的な計画に着手されたい。		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	b
良い点／工夫されている点： 医療・福祉・教育の三本柱のビジョンを実現するための人事管理が行われている。事業拡大のための人事や離職者による人員配置の変更の運営は、総合的な人事管理ゆえの利点である。		
改善できる点／改善方法：		

<p>人材不足が深刻な福祉業界にあって現場で必要な人材の確保に苦労があるが、複数の事業所運営をしている強みを活かし、組織としての人事システムの構築に期待したい。職員の就業規定、給与規定等を整備し、職員に周知されたい。</p>		
<p><b>II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。</b></p>		
16	<p>II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p>	a
<p>良い点/工夫されている点： 職員のワークライフバランスに配慮し、シフトの調整や有休取得が出来る環境にある。法人全体で宿泊の研修を兼ねた懇親会の開催やユニホームのTシャツの支給がある。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
<p><b>II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</b></p>		
17	<p>II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。</p>	b
<p>良い点/工夫されている点： 管理者が支援に必要な知識や技術を現場で直接指導したり、研修資料を基に職員にわかりやすく伝え、職員育成に努めている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法： 法人代表との面談は、法人移行時に一度行われたが、定期的ではない。日々の業務に追われ職員一人ひとりの力量に合わせた育成に取り組む余裕がないのが実情である。まずは、職員一人ひとりが障がい児についての知識と技術を自己評価し、目標を立て、定期的に管理者が面談するシステムの構築から取組まれたい。</p>		
18	<p>II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。</p>	b
<p>良い点/工夫されている点： 業務で必要な外部研修や内部研修の情報は適宜本社から送られてくる。職員自らが望む研修参加も奨励しており、研修費用は法人から支給されている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法： 外部研修の参加を法人が奨励しているが、基準の職員配置数の中では思うように参加できない現状にある。職員の充足と研修は両輪であり、エリアの事業所と協力し、研修計画の策定に期待したい。</p>		
19	<p>II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。</p>	b
<p>良い点/工夫されている点： 管理者は、法人からの情報を職員に提供し、参加できるようにシフトの調整に努めている。研修後は振り返りシートの提出が義務付けられており、研修を振り返ることで自らの力としている。シートは本社へ送っている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法： 職員の習熟度を計る仕組みが確立していない。管理者同士が連携し、研修報告や事例発表会等職員のQC活動に期待したい。また、職員のモチベーションにつながる研修体制が望まれる。ま</p>		

た、倫理綱領や接遇に関しては新人研修での取組が望ましい。		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	評価外
良い点／工夫されている点：		
改善できる点／改善方法：		

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
良い点／工夫されている点： ホームページが充実しており、ほぼ毎日各事業所の利用者活動の様子を写真とコメントで公開している。保護者向けのライン回線を設け、情報を速やかに届けている。保護者アンケートは法人が移行したためまだ取組めていないが、職員向け自己評価結果は開示されている。		
改善できる点／改善方法： 運営主体が株式会社であっても、公費による福祉サービスを実施する主体として、運営の透明性を図ることは社会的責務として必要であるとの認識を持ち、事業所の基本的な財務に関する情報の公開に期待したい。		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
良い点／工夫されている点： 専門家である弁護士、司法書士、税理士、社会保険労務士、行政書士が顧問として運営を支え、透明性の高い経営、運営が行われている。		
改善できる点／改善方法：		

### II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
良い点／工夫されている点： 事業所周辺には大型スーパーマーケットや飲食店を多く点在しており、月1回ではあるが、清		

<p>掃活動を実施し、地域住民に事業所の存在を知ってもらう機会となっている。地域の商店で買い物体験もさせている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 地域との関わり方について、利用者の特性に配慮した基本的な考えを文書化し、社会の一員である意識で地域とつながりが持てる取組に期待したい。</p>		
24	<p>Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし、 体制を確立している。</p>	b
<p>良い点／工夫されている点： 法人として利用者の特性を理解できないボランティアを受け入れることは利用者にとっても不利益であり、ボランティアの導入は慎重に捉えている。有償ボランティアの受入れ姿勢はある。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： マニュアルの整備には至っていない。今後、マニュアルを整備し、障がい児支援を学んでいる学生ボランティアの開拓にも期待したい。</p>		
<p>Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</p>		
25	<p>Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、 関係機関等との連携が適切に行われている。</p>	a
<p>良い点／工夫されている点： 学校や相談支援事業所等の社会資源を活用し、支援に活かしている。特に相談支援事業所とは利用者の情報共有、トラブル解決を連携して対応するなど良好な関係が図られている。関係機関とやり取りした内容は職員間で共有している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>		
26	<p>Ⅱ-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。</p>	b
<p>良い点／工夫されている点： 事業所周辺は商業地であり、利用児と職員が一緒になってペットボトルや空き缶、ごみ等の掃除活動を定期的に行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 地域との交流する機会が少ない。先ず、地域のイベントに参加したり、公的な場所等へ出掛けるなどから始めて、地域と距離を置いた状況からの打開に期待したい。</p>		
27	<p>Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行 われている。</p>	b
<p>良い点／工夫されている点： 地域の福祉ニーズの把握に努め、相談に応じている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 地域を巻き込んだ活動を展開の予定であり、今後の活動に期待したい。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービスについて共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>法人全体として、虐待防止及び身体拘束についての研修に力を注いでいる。職員の共通理解が得られているかを確認するために、職員への筆記試験も行き、周知徹底を図っている。本人や保護者が望まない活動については、その思いを尊重し、別のプログラム活動を提供して対応している。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>事務室にマニュアルが整備されている。法人の内部研修としてプライバシー保護についての研修受講を年2回同じ内容で実施し全職員に受講を義務づけている。自らの意志が十分に伝えられない利用児には職員がその気持ちを押し量り、権利擁護に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>北方支店の3事業所のそれぞれの特色を活かした活動が展開されており、3事業所の月間活動スケジュールを提示し、利用者は選択できる仕組みになっている。見学、体験の上でも可能であり、選択に必要な情報を提供している。また、行政、相談支援事業所等にパンフレットを配布している。ホームページで事業所の概要、1日の利用の流れ、日々の活用の様子等の情報提供に努めている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>利用開始時には、重要事項説明書でわかりやすく説明し、変更する場合も保護者への説明と同意の手順を踏んで行っている。基本は6ヵ月ごとの見直しをしているが、急の支援変更も柔軟に</p>		

行っている。		
改善できる点／改善方法：		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	b
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>変更先の事業所へ、利用児の情報を提供し安心して移行できるように対応している。事業所と保護者との連絡ノートがあり、必要に応じて保護者と連絡ノートを活用している。また、サービス提供終了後も、保護者に連絡を入れ状況確認を行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
移行先へ利用児の情報を提供する時、引き継ぎにあたっての文書化のために、分かり易い文書のひな形を用意されたい。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取り組んでいる。	b
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人が力を入れている事業の中に、利用児の養育に馬を導入しているサービスがある。事業所のバスで1時間～1時間半の場所へ2カ月に1回程度と回数は多くはないが、利用児の満足度は高く、定期的実施している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
年1回保護者アンケートを行い、利用者満足の上昇に努めているが、法人移行があり、今年度はまだ実施されていない。定期的な保護者の相談面接日を設定したり、保護者懇談会の開催に期待したい。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>苦情解決のマニュアルがあり、記録として残している。受付から保護者に改善点まで説明する一環の流れで対応している。エリアの3事業所と連携し、節目ごとに保護者の意見を抽出し、話し合いの場を設けている。本社でも直接、苦情を受ける体制にある。</p>		
改善できる点／改善方法：		
苦情解決の仕組みを文書化し、保護者への報告や事業所の改善報告等、法人全体で統一した取組を期待したい。また、苦情対応の第三者委員の設置が望まれる。		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>個別面談できるスペースは確保されている。法人全体のかかわり版「にじ」を毎月発行し、保護者に送付している。また「キッズだより」で常時の予定を発信し、意見の糸口にしている。苦情があれば受け付け、気軽に相談できる雰囲気で作成している。</p>		

改善できる点／改善方法：		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>相談内容によっては、行政や相談支援センターと連携を取ったり、他事業所の協力を得、法人の多機能性を活かし迅速に対応している。マニュアルは管理者が適宜見直し、変更している。法人移行時には管理者が保護者の気持ちに寄り添い対応に努めた。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人内で虐待防止委員会が設置されリスクマネジメントに特に力を入れている。発生時の対応マニュアルはあり、日々の申し送りで注意喚起したり、内部研修で情報を共有している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>ヒヤリハットシートが存在するが、その使用判断が職員間でズレしており、ヒヤリハットの記録を怠ることもある現状から、報告の判断基準を明確にし、どんな軽微なことでもヒヤリハットに挙げることで事故防止に努められ、確かなリスク管理に期待したい。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>感染症マニュアルを作成し、感染症の種類とその対応を具体的に示している。学校規定に準じた対応もファイルしてある。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>インフルエンザ感染後の受入れ体制の基準や指針を整備し、更なる感染を未然に防ぐ体制へとつなげ、全職員がマニュアルの内容の周知に努められたい。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>年2回の防災訓練を実施している。内1回は消防署立ち会いでの訓練であり、1回はエリア3事業所で協力し避難訓練を行っている。職員の連絡は緊急連絡網が整備されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>送迎時の災害対応のマニュアルの整備や、災害時の管理者や職員の行動を明確にし、適切な対応が出来る取組に期待したい。</p>		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	b
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>アセスメントツールを使いこなし、利用者の特性の把握に努めている。利用者の尊重、プライバシーの保護等についてのマニュアルを整備し、標準的な実施方法として職員間で共有している。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p> <p>管理者の指導のもと、個別支援計画の内容を理解しながら実践している現状にあり、人材育成のためにも、標準的な実施方法を文書化し、基本支援の標準化を図られたい。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>活動が利用児にとって遊びとならないよう、利用児の特性を踏まえ自立に向けたルールが身につくように支援している。その支援は職員間で統一し、一貫性を持って取組んでいる。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p> <p>支援の一貫性に努めているが、標準的な実施方法としての文書化は各種マニュアル作成に留まっているので、新任研修や職員が基本支援に立ち返るためにも、文書化して支援の標準化を図られたい。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>相談支援事業所作成の支援目標を基に、保護者のニーズの抽出、本人の能力、特性を把握し個別支援計画に反映させて支援に繋げている。本人の書いた絵から本人を理解する努力もし、短期、長期と目標を設定して職員間で共有している。毎月のケア会議で利用児の個別課題を提示し話し合いが行われている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用児の状況に合わせて、集団の中での関わりと個別のニーズが適切に支援されているかの視点で、支援計画の評価は半年ごとに行っている。活動プログラムが固定化しないように、新しいプログラムの工夫に心がけ、必要に応じて見直しが行われている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に	b

	行われ、職員間で共有化されている。	
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人共通の書式の支援ファイル、日々の活動日誌、保護者との連絡帳等、記録物は多くあるが職員間で共有している。法人本部への報告はI T機器を活用している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>発達支援の支援目標が1項目となっており、短期、長期目標として3項目挙げての作成が望ましい。また、全職員が支援のP D C Aサイクルを理解し、意見交換できる姿勢に期待したい。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>個人情報に関するファイルや個別支援計画等、鍵がかかる保管庫で管理し、管理者が責任持って対応している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		